編　修　趣　意　書

（教育基本法との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
３０-５１	小学校	図画工作	図画工作	１・２年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
１１６　日文	図工　１０３ 図工　１０４	ずがこうさく１・２上　たのしいな　おもしろいな ずがこうさく１・２下　たのしいな　おもしろいな		

１.編修の基本方針

子どもたちがもつ創造力を，より豊かなものにするために

変化が激しく予測困難な現代社会では，自ら課題を発見し，試行錯誤しながら解決方法を探し，他者と協働して新たな価値を創造することが求められています。

図画工作科の授業では，同様のことを，形や色を用いて行っています。目や手だけでなく全身を使って対象に触れ感じながら表したいことを見付け，試しながら表し方を探し，自分にとって意味や価値あるものをつくりだす。これらを繰り返しながら，子どもたちは資質・能力を働かせています。

本教科書は，資質・能力を育む原動力となる「感じる・ためす・つくりだす」を基本方針に掲げて編修に取り組みました。

基本方針 1 **感じる**

～面白い！いいこと考えた！

感性や想像力を育む

知識及び技能

思考力，判断力，表現力等

学びに向かう力，人間性等

基本方針 2 **ためす**

～思いついた！やってみよう！

失敗を恐れず
試行する力を育む

基本方針 3 **つくりだす**

～できた！見て見て！

新しい価値を
創造する力を育む

基本方針 1

感じる：感性や想像力を育む

面白い！ いいこと 考えた！

1 感性に働きかける題材で，主体的な学びを実現します

⇒ 魅力的な写真や作品が，子どもたちの「やってみたい」を引き出します。

●材料に直接触れる感覚を大切にした題材を設定しています。

ねん土を にぎって，かたちを かえよう。
できた かたちを 見て みよう。なにが できそうかな。

▼1・2下 p.12-13「にぎにぎ ねん土」

1・2下 p.16-17 ▶
「ふしぎな たまご」

●この時期の発達の段階に合わせて，自由にのびのびと想像を広げていける題材を設定しました。

2 身の回りを造形的な見方で捉える力を育みます

⇒ 身近なものから美術作品まで多様な「形や色」に出合うページ「教科書美術館」を設けています。

きょうかしょ びじゅつかん

▲1・2上 p.4-6 きょうかしょ びじゅつかん「すきな かたちや いろ なあに」

●3ページで構成し、インパクトがあるだけでなく，じっくり見たくなるレイアウトで様々な気付きを促します。また，対話の提案が，気付きと学びを深めていきます。

3 多様な感じ方を尊重する態度を育みます

⇒ 友だちとの対話的な学びの場面を豊富に掲載しています。

●対話しながら想像を広げたり，思いを伝え合ったりする場面を掲載し，活動中の対話を重視しています。

かんがえた おはなしを ともだちに おしえて あげよう。

▲1・2上 p.46-47「のって みたいな いきたいな」

ともだちは どんな くふうを して いるのかな。

▲1・2上 p.22-23「おって たてたら」

基本方針 2

ためす：失敗を恐れず試行する力を育む

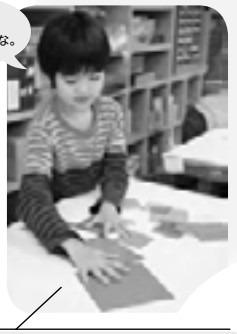
思いついた！
やってみよう！

1 試行しながら思考し，答えを探し出す力を育みます

⇒ 発達の段階に合った材料を使い，つくりかえながら考えることを大切にした題材を配置しています。

●形を変えやすい新聞紙が，子どもたちの様々な思い付きを生み，「ためす」を促します。

1・2下p.18-19▶
「しんぶんしと
なかよし」



1・2下p.28-29▶
「いろの 見えかた むげん大」

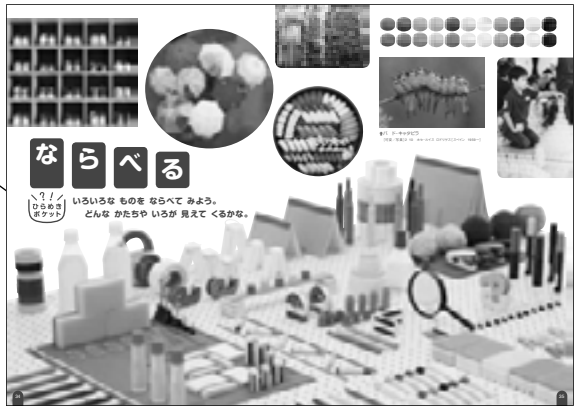
●実際に触れて試して考える様子は，子どもたちに安心感と，自分もやってみようという意欲を与えます。

2 発想のヒントが，「ためす」を促します

⇒「ためす」ためのキーワードや，発想のヒントを示しています。

?!/ひらめきポケット

●1・2下では，「ならべる」をテーマに，ならべてできた形や色を掲載しています。何がどうならんでいるのか見て考えることが，自分の発想につながっていきます。



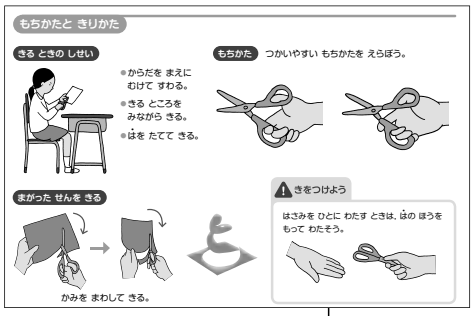
▲1・2下p.34-35 ひらめき ポケット「ならべる」

かたちや いろと なかよしの
ちろたん

●発想のヒントを伝えたり，学びを促したりするキャラクターを，全ての題材に配置しています。

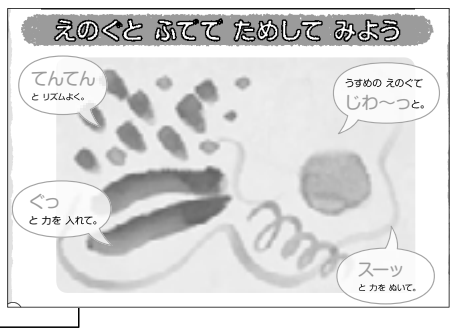
3 「ためす」を支える技能の基礎を育みます

⇒ 巻末の8ページに，材料や用具についての特設ページ「使ってみよう 材料と用具」を設けています。



●材料や用具の安全な使い方について，これまで以上に丁寧に分かりやすく示しています。

●表現や材料の多様さについて，大きな図版で示し，「ためす」意欲を高められるよう工夫しています。



▲1・2上p.60-67

1・2下p.58-65▲

基本方針 3

つくりだす：新しい価値を創造する力を育む

できた！ 見て見て！

1 主体的に目標を見付け，創造活動に取り組む態度を育みます

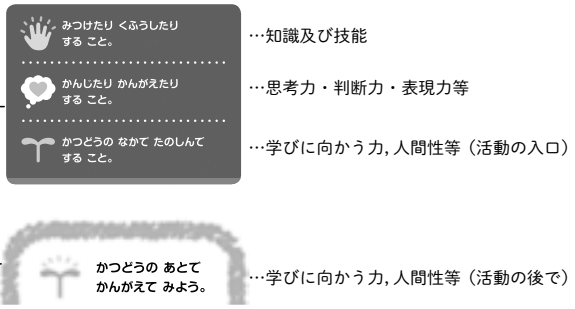
⇒ 図画工作科の目標や見方・考え方，大切にしてほしいことを分かりやすく示しています。

しゃしんや さくひんは
の ヒントです。

●「造形的な見方・考え方」について子どもたちと共有するとともに，教科書の図版はヒントであり，自分の力で創造していくことの大切さを伝えています。

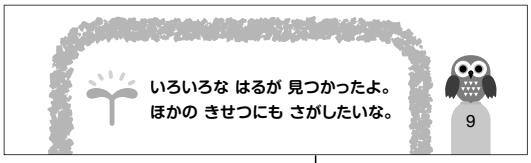
▲1・2下 p.5-7 オリエンテーション

●学習指導要領の各学年の目標を基に三つの学習のめあてを設定しています。「学びに向かう力，人間性等」については，活動の入口と活動後の二つを関連させて示しています。



2 学びを振り返り，新しい学びへと生かす力を育みます

⇒ 学びを連続させるため，「活動の後で」や幼児期との接続ページを設定しています。



▲1・2下 p.8-9「おはなみ スケッチ」

●各題材の最後には，「活動の後で」を設けています。学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ，学びを振り返り，次の学びへと向かう意欲をもつことができるようにしています。

●1・2 上では，幼児期に子どもが学んできたことを振り返り，確かめるページを設けました。これまでの経験や体験と図画工作の活動がつながっていることを示しています。

▲1・2 上 p.2-3 幼児期との接続ページ

3 楽しく豊かな生活を創造する態度を育みます

⇒ 図画工作で学んだことを生活や社会で生かしたり，つないだりする事例を掲載しています。

▲1・2下 p.56-57 ずがこうさくの つながり ひろがり「ずがこうさくが ひろがる」

●低学年の子どもにとって身近な社会である「学校」で，図画工作で学んだことや身に付けたことを生かしている活動を紹介しています。

●全学年にわたって，つくったものを家庭などで大切にする様子を掲載し，学びが生活に結び付いていることを示しています。

▲1・2上 p.40-41「かざって なに いれよう」

2. 対照表

教育基本法第2条に示されている教育の目標を達成し，教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように，題材の設定や作品，写真の選択，文章表現などについて十分に配慮しました。

構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇　所
幼児期との接続ページ	幼児期の学びと図画工作科での学びを関連付け，幅広い知識と教養を身に付け，豊かな情操を培うことができるよう配置しています。(第1号)	1・2 上 p.2-3
オリエンテーション	一人一人の価値を尊重し，その能力を伸ばし，創造性を培うことができるよう，図画工作科の目標を共有するページを設けました。(第2号)	1・2 上 p.7-9 1・2 下 p.5-7
題材ページ	表現や鑑賞の全活動において，美しいものや優れたものに触れ，豊かな情操と道徳心を養うことのできる題材を掲載しています。 また，体全体を使った活動を多く取り入れ，健やかな身体を養う題材を掲載しています。(第1号)	全　般
	様々な作品例を掲載することで，表現の幅広さを示し，創造性を培うことができるよう工夫しています。 また，家庭で作品を飾っている様子などを掲載することで，題材と生活との関連を示しています。(第2号)	全　般
	協力して行うことで，満足感や達成感を得られるような題材を設定しています。 また，互いの作品や活動について，それぞれの違いやよさを話し合い，認め合う活動の様子を多く掲載しています。(第3号)	全　般
	身の回りの材料や自然に親しむ造形活動を通して，自然のよさを体感できる活動を掲載しています。(第4号)	全　般
	日本の伝統的な遊びや行事に関わる題材を取り上げ，実際につくり遊ぶことでそのよさを深く理解できるように工夫しました。(第5号)	全　般
教科書美術館	幅広い知識と教養を身に付け，豊かな情操を培うことができるよう，伝統文化を含む多様な造形を取り扱うページを設けています。(第1号, 第5号)	1・2 上 p.4-6 1・2 下 p.2-4
ひらめきポケット	幅広い知識と教養を身に付け，豊かな情操を培うことができるように，造形的な視点で形や色などを見付けるヒントとなるようなページを設定しています。(第1号)	1・2 上 p.36-37 1・2 下 p.34-35
図画工作のつながり ひろがり	地域での活動を掲載し，自他の敬愛と協力を重んじ，主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるようにしました。また，海外からの訪問学生との活動を掲載し，他国を尊重する態度を養うことができるようにしています。(第3号，第5号)	1・2 下 p.56-57
使ってみよう 材料と用具	材料と用具についての幅広い知識を学べるようページを構成しています。また家庭での材料集めや材料の再利用について掲載し，環境の保全に寄与する態度を養えるよう工夫しています。(第1号，第4号)	1・2 上 p.60-67 1・2 下 p.58-65

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

特別支援教育への配慮

全ての児童が等しく学べるように，カラーユニバーサルデザインの観点から編修を行うなど，特別支援教育の観点に配慮しています。

道徳との関連

教科書全体を通して，つくりだす喜びを味わいながら，美しいものや崇高なものを尊重する心を育むことや，友だちと理解し合うこと，家族や学校の人々を敬愛すること，我が国や郷土の伝統と文化を大切にすることなどと関連を図るとともに，特に道徳との関連があるページについては，マークを用いて示しています。

ICT 活用

デジタルマークを付けた題材では，ICT を活用して学習を効果的に進められるように，弊社ウェブサイトにコンテンツを用意しています。

編　修　趣　意　書

（学習指導要領との対照表）

※受理番号	学　校	教　科	種　目	学　年
３０-５１	小学校	図画工作	図画工作	１・２年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
１１６　日文	図工　１０３ 図工　１０４	ずがこうさく１・２上　たのしいな　おもしろいな ずがこうさく１・２下　たのしいな　おもしろいな		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

特色 1

授業の進め方が分かりやすい教科書

各題材ページでは，子どもたちに伸ばしてほしい資質・能力を明確にするとともに，資質・能力を発揮するためのヒントを多く掲載しています。また各巻にオリエンテーションを設け，どのようなことを学ぶのか，教科書をどのように使えばよいのかを，児童，保護者とも共有できるよう示しています。

❶ 学習のめあて

各題材の冒頭に，題材で何を学ぶのかが分かるように，学習指導要領の目標を基にした「学習のめあて」を示しています。先生と子どもがめあてを共有し，学習に取り組むことができるとともに，学習の振り返りでもめあてを確認することができます。

… 知識及び技能

… 思考力，判断力，表現力等

… 学びに向かう力，人間性等

❷ キャラクター

子どもの活動と〔共通事項〕を結び付け，学びを促します。

❸ 情景写真と作品例

・実際の授業で撮影された情景写真は，資質・能力を発揮する生き生きとした子どもの姿を示し，授業の流れや学びのプロセスをつかむことができます。

・全国の子どもがつくった作品例は，一部を拡大したり，吹き出しで子どもの考えたことを掲載したりし，発想や構想，工夫を読み取りやすくしています。

▲1・2下 p.50-51「ともだち ハウス」

❹ きをつけよう・かたづけ

安全に活動できるよう，注意事項について「きをつけよう」で示しています。また，材料の有効利用や再利用について「かたづけ」で示しています。

❺ 活動の後で

学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ，活動の終わりに，題材での学びを振り返り，次の学びへ生かそうとする子どものつぶやきとして，「学びに向かう力，人間性等」を示しています。

特色 2

学びを支える教科書

子どもたちが安心して意欲的に学ぶことができるように工夫しました。

1 思わず形や色に働きかけたくなる教科書

⇒ 造形的な見方・考え方を深められるよう，身の回りのものから美術作品まで幅広く取り上げたページを設けています。

きょうかしょ びじゅつかん

?! ひらめき ポケット

▲1･2 下 p.2-4 きょうかしょ びじゅつかん「たのしい かたちや いろの せかい」

●対話をしながら学びを深めていくことができます。

●1･2 上では「さわる」ことで，新しい感じが見付けられることを示し，身の回りのものへ造形的な見方で働きかけたくなるよう工夫しています。

1･2 上 p.36-37 ひらめき ポケット「さわる」▶

2 材料・用具について分かりやすく丁寧に学べる教科書

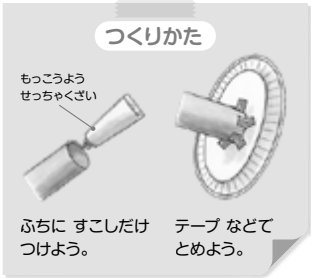
⇒ 巻末の 8 ページに，材料や用具についての特設ページを設けています。

◀1･2 下 p.24-25「まどから こんにちは」

●題材で使う主な用具についてアイコンで示すとともに，関連のあるページへのリンクを記載し，用具の安全な使い方や，材料について学ぶことができます。

◀1･2 下 p.60 つかって みよう ざいりょうと ようぐ

▼1･2 上 p.50-51「かみざら コロコロ」



●題材ページにおいても，基本的な仕組みやつくり方について，イラストで丁寧に示しています。

3 特別支援教育・ユニバーサルデザインに対応した教科書

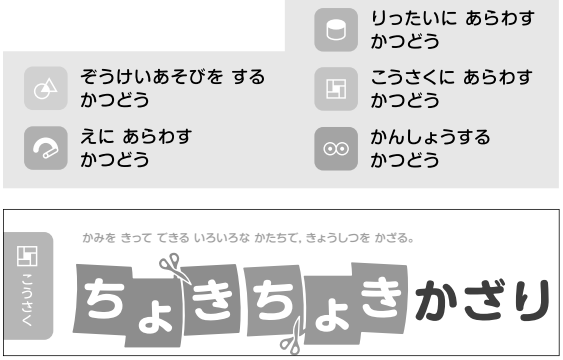
⇒ 特別支援教育や色覚特性などの観点から，紙面デザインを検証しています。

●学年に合わせ，文字の大きさを調整しました。

●本文は，意味のまとまりで改行し，文章の意味がつかみやすくなっています。

●色覚特性の有無にかかわらず，誰もが見やすく見分けやすい配色によるデザインになっています。

●題材名は見やすく，かつ楽しく取り組めるようデザインされています。



特色 3

学びをつなげる教科書

学習を生活や社会とつなげ、学びが広がるよう工夫しました。

1 生活経験と学びを関連させる教科書

⇒ 子どもたちの発達の段階や生活経験に合わせて，幼児期との接続ページや題材を設けています。

●幼児期の学びを生かし，発揮できるよう，幼児期との接続ページを設けています。

▲1・2 上 p.2-3 幼児期との接続ページ⇔幼児期の経験

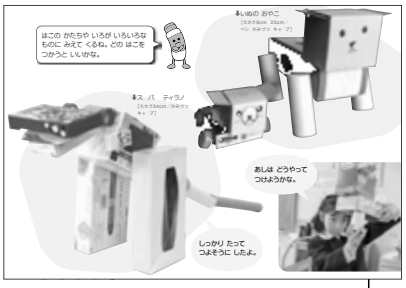
●身近な自然や季節，遊び，学校行事など，子どもたちの生活に結び付く題材を設定しています。

▲1・2 下 p.42-43「わくわく おはなしゲーム」⇔伝統的な遊び

▲1・2 下 p.54-55「ともだち 見つけた！」⇔身近な自然

2 他教科や他題材と関連付けて学ぶことができる教科書

⇒ カリキュラムマネジメントの実現を目指し，他教科や他題材との関連を図っています。



▲1・2 上 p.44-45「はこで つくったよ」

●算数科での立体の学習に合わせ，箱を用いた題材を設定しています。

●その他の教科との結び付き

1・2 下 p.56-57
「ずがこうさくが ひろがる」
（生活科）

1・2 下 p.40-41
「ことばの かたち」（国語科）

1・2 下 p.30-31
「音づくり フレンズ」（音楽科）

1・2 下 p.54-55
「ともだち 見つけた！」
（理科）など

●いいなと感じたことを小さな紙にかく活動と，その経験を生かした表現とを関連させ，学びを活用できるようにしています。

▲1・2 下 p.8-9「おはなみ スケッチ」

1・2 下 p.26-27「たのしかったよ ドキドキしたよ」▲

3 社会に開かれた教育課程の実現を目指す教科書

⇒ つくったものを使ったり，学んだことを生かしたりし，社会とつながる事例を掲載しています。

ずがこうさくの つながり ひろがり

うんどうかいの はたを かざったよ［栃木県］

◀▼1・2 下 p.56-57
ずがこうさくの つながり ひろがり
「ずがこうさく が ひろがる」

みんなと さくひんに ついて はなしたよ

ようちえんの 子と いっしょに おはなししたよ。
すきな ところを つたえあったよ。

●発達の段階に合わせ，様々な他者や社会集団と図画工作を通して関わる事例を示しています。1・2 年において，特に学校内での異学年との交流を多く掲載しています。

いえで つかったよ

▲1・2 上 p.40-41
「かざって なに いれよう」

本教科書の特色表		
基本事項	**教育基本法の遵守**	・教育基本法第二条に示されている教育の目標を達成し，教育基本法の考えが教科書全体に行き渡るように，題材の設定や作品，写真の選択，文章表現などについて十分に配慮しています。
	学習指導要領の遵守	・学習指導要領に示された目標を受けて，全ての題材において，表現と鑑賞が一体的に学習できるように配慮しています。題材は，学習指導要領を基に「造形遊びをする」「絵に表す」「立体に表す」「工作に表す」「鑑賞する」の５つの分野に分け，活動の内容を把握しやすいように示しています。 ・学習指導要領で示された目標に基づき，全ての題材において「学習のめあて」を示しています。 ・〔共通事項〕について，教科書全体で取り扱うとともに，活動と〔共通事項〕を結び付けられるようキャラクター（ちろたん）を設定しています。また，より造形的な視点で身の回りや社会をとらえることができるよう「教科書美術館」「ひらめきポケット」の特設ページも設けています。
内容・系統	**発達の段階への配慮**	・幼児期との接続ページを設定しています。また，幼児期に行う表現活動を参考に，一年生が入学後に取り組む題材として興味を抱きやすいものを配列することで，より効果的に学習できるよう工夫しています。 ・それぞれの分野の中で，子どもの発達に十分配慮した材料や用具を取り扱っています。
	配列・分量	・地域や学校の実態に合わせて，題材を選択したり組み合わせたりできるよう工夫しています。 ・題材での学びを次の活動へ生かせるよう，題材に系統性をもたせています。
	主体的・対話的で 深い学びの実現	・オリエンテーションにおいて，「造形的な見方・考え方」やめあて，教科書の使い方を共有し，児童が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫しています。 ・児童が自分の活動を振り返り深めることができるよう，全ての題材に「活動の後で」を設定しています。 ・児童が考えを伝え合ったり，友だちと相談したりしながら造形活動を行う様子を紹介し，対話を通して思考力を働かせ，学びを深めることができるように工夫しています。 ・児童が「造形的な見方・考え方」を働かせて，自ら表したいことやつくりたいことを見付けられるように，題材の設定に十分に配慮し，オリエンテーション，特設ページを設けています。
	社会に開かれた 教育課程・カリキュラム マネジメントの実現	・オリエンテーションを設け，図画工作科で育む資質・能力について保護者や教科書を見る人たちと共有できるよう工夫しています。また，図画工作で扱う身近な材料を紹介するページを設け，生活の中で触れているものを図画工作の活動で活用できることを示しています。 ・家庭に作品を持ち帰ったり，地域で活動したりする事例を掲載し，図画工作での学習が社会とつながっていることを示しています。 ・他教科と関わりのある題材を設定しています。
	言語活動の充実	・児童がコミュニケーションを取りながら造形活動を行う様子を紹介しています。 ・作品コメントや，ワークシートを紹介し，形や色・言葉で思いを伝え合う活動を促しています。
現代的・社会的課題	**伝統文化・多様性の尊重と 国際理解**	・伝統的な遊びを題材として取り上げ，つくりながらその面白さを味わえるよう工夫しています。 ・外国の子どもの作品や，海外からの訪問学生との活動事例を取り上げています。
	社会の持続可能な発展	・題材ページ内の「かたづけ」において，材料の有効利用について触れています。 ・自然材や再利用できる材料を使用する題材を設定し，環境問題への関心を高める工夫をしています。
	家庭や地域・社会への関心	・題材ページや特設ページにおいて，作品を家庭で使ったり，飾ったりしている場面を掲載しています。
	人権への配慮	・異学年での交流や地域での活動を紹介し，人との触れ合いや共生への意識を高める工夫をしています。
その他	**デジタル教材の活用**	・児童の学びを深めるためのデジタルコンテンツを制作し，該当題材にはデジタルマークを示しています。 ・別途デジタル教材を提供する体制を整え，学習効果をより高められるよう配慮しています。
	特別支援教育への配慮	・すべての児童が等しく学べるよう，カラーバリアフリー，ユニバーサルデザインなどを採用しています。 ・拡大教科書を制作します。
	判　型	・A4 判を採用し，作品や写真をより大きく見やすく，インパクトをもたせて掲載し，児童の興味・関心を引き出す工夫をしています。
	文字・印刷・製本	・当該学年以上の配当漢字には，すべてに振り仮名をつけています。 ・文字は，児童に読みやすいよう開発された教科書体を使用しています。 ・重さへの負担を軽減するため，軽量化した再生紙の中で最適の良質コート紙を使用しています。 ・表紙は美しい光沢と耐水性のあるコーティングを施し，丈夫で水濡れに対しても耐久性があります。 ・人体への影響が少ない植物性インキを用いて印刷しています。 ・製本は約 30 カ所という細かい目を付けたミシン糸の中綴じで，見返しを付けているため開きやすくかつ長期の使用に耐える堅牢な造本にしています。

2. 対照表

頁 数	教科書の内容（1・2 上）	分野	学習指導要領の内容
2 - 3	幼児期との接続ページ	−	−
4 - 6	きょうかしょ びじゅつかん	鑑	B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
7 - 9	オリエンテーション	−	−
10-11	かきたい もの なあに	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
12-13	ちょきちょき かざり	工	A 表現 (1) イ，(2) イ B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
14-15	すなや つちと なかよし	造	A 表現 (1) ア，(2) ア B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
16-17	やぶいた かたちから うまれたよ	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
18-19	ひもひも ねんど	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
20-21	みて みて あのね	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
22-23	おって たてたら	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
24-25	ぺったん コロコロ	造	A 表現 (1) ア，(2) ア　共 (1) ア，イ
26-27	ごちそう パーティー はじめよう!	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
28-29	カラフル いろみず	造	A 表現 (1) ア，(2) ア B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
30-31	いろいろな かたちの かみから	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
32-33	ひらひら ゆれて	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
34-35	おはなしから うまれたよ	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
36-37	ひらめき ポケット	−	A 表現 (1) ア，イ B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
38-39	いっぱい つかって なに しよう	造	A 表現 (1) ア，(2) ア　共 (1) ア，イ
40-41	かざって なに いれよう	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
42-43	でこぼこ はっけん!	鑑	B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
44-45	はこで つくったよ	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
46-47	のって みたいな いきたいな	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
48-49	ならべて ならべて	造	A 表現 (1) ア，(2) ア　共 (1) ア，イ
50-51	かみざら コロコロ	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
52-53	すきまちゃんの すきな すきま	鑑	B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
54-55	いっしょに おさんぽ	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
56-57	にょきにょき とびだせ	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
58-59	うつした かたちから	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
60-67	つかって みよう ざいりょうと ようぐ	−	A 表現 (2) ア，イ　共 (1) ア，イ

頁 数	教科書の内容（1・2 下）	分野	学習指導要領の内容
2 - 4	きょうかしょ びじゅつかん	鑑	B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
5 - 7	オリエンテーション	−	−
8 - 9	おはなみ スケッチ	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
10-11	ひかりの プレゼント	造	A 表現 (1) ア，(2) ア B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
12-13	にぎにぎ ねん土	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
14-15	わっから へんしん	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
16-17	ふしぎな たまご	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
18-19	しんぶんしと なかよし	造	A 表現 (1) ア，(2) ア　共 (1) ア，イ
20-21	くしゃくしゃ ぎゅっ	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
22-23	とろとろ えのぐで かく	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
24-25	まどから こんにちは	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
26-27	たのしかったよ ドキドキしたよ	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
28-29	いろの 見えかた むげん大	鑑	B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
30-31	音づくり フレンズ	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
32-33	つないで つるして	造	A 表現 (1) ア，(2) ア　共 (1) ア，イ
34-35	ひらめき ポケット	−	A 表現 (1) ア，イ B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
36-37	はさみの あーと	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
38-39	おもいでを かたちに	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
40-41	ことばの かたち	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
42-43	わくわく おはなしゲーム	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
44-45	だんボールに 入って みると!?	造	A 表現 (1) ア，(2) ア　共 (1) ア，イ
46-47	ざいりょうから ひらめき	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
48-49	パタパタ ストロー	工	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
50-51	ともだち ハウス	立	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
52-53	たのしく うつして	絵	A 表現 (1) イ，(2) イ　共 (1) ア，イ
54-55	ともだち 見つけた!	鑑	B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
56-57	ずがこうさくの つながり ひろがり	−	A 表現 (1) ア，イ，(2) ア，イ B 鑑賞 (1) ア　共 (1) ア，イ
58-65	つかって みよう ざいりょうと ようぐ	−	A 表現 (2) ア，イ　共 (1) ア，イ

表の「学習指導要領の内容」は，学習指導要領第７節第２の内容を表す。A 表現 (1) は「思考力，判断力，表現力等」として発想や構想，A 表現 (2) は「技能」に関する項目を示し，アは造形遊びをする活動，イは絵や立体，工作に表す活動に関する事項を示す。B 鑑賞 (1) アは鑑賞する活動を通して育成する「思考力，判断力，表現力等」に関する項目を示す。共 (1) は共通事項を示し，アは形や色などの造形的な特徴を理解するという「知識」，イは自分のイメージをもつという「思考力，判断力，表現力等」に関する事項を示す。また表の「分野」について，「造」は造形遊びをする，「絵」は絵に表す，「立」は立体に表す，「工」は工作に表す，「鑑」は鑑賞する活動を示している。

●A 表現 (1) に関して

A 表現の全題材において，子どもたちが発想や構想していく情景写真を示しています。また，発想や構想のヒントとなる「ひらめきポケット」を題材ページとは別に設定しています。

●A 表現 (2) に関して

A 表現の全題材において，子どもたちが材料や用具を工夫して使っている情景写真を示しています。また，材料や用具についての扱い方を学べるよう，「使ってみよう材料と用具」を題材ページとは別に設定しています。

●B 鑑賞 (1) に関して

B 鑑賞の全題材で，子どもたちが造形的な面白さを感じ取り，自分の見方を広げている情景写真を掲載するとともに，表現題材においても友だちの作品を鑑賞する様子を掲載しています。また，「教科書美術館」を題材ページとは別に設定しています。

●〔共通事項〕(1) アに関して

全ての題材にキャラクターを設置し，児童が見付けた形や色などについて認めたり，気付きを促す行為を提案したりする言葉を投げかけることで，形や色などについて気付いたことが知識として定着するよう配慮しています。

●〔共通事項〕(1) イに関して

全ての題材に授業の初発問となるリード文を配置し，形や色から自分のイメージがもてるよう配慮しています。

●目標に関して

全ての題材において，「学習のめあて」を設定し，子どもたちと図画工作の目標を共有できるようにしています。